

7. 平成20～22年度の3年間追跡調査

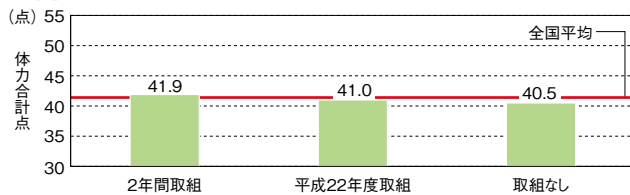
1 前年度の結果を踏まえた学校の取組の継続状況と、体力・地域・家庭連携との関連

■ 平成21、22年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえ、どのような取組をしましたか（取り組む予定ですか）」に対する回答をもとに、学校を以下の3群に分類した。（1,666校）
 「2年間取組」群……平成21、22年度ともに、取組をした（取り組む予定である）と回答した学校
 「平成22年度取組」群……平成22年度だけに、取組をした（取り組む予定である）と回答した学校
 「取組なし」群……平成21、22年度ともに、取組をしていない（行う予定はない）と回答した学校

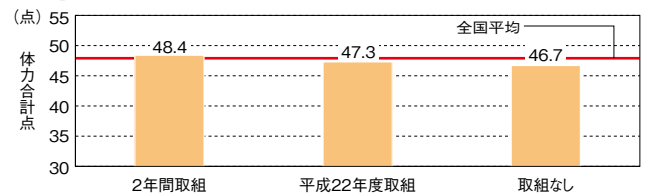
① 「2年間取組」群は、男女とも体力合計点が最も高く、「生徒の運動やスポーツに関して、地域の関係団体などと話し合う機会がある」「運動やスポーツ、子どもの体力について家庭と連携している」割合が、いずれも最も高かった。

① 体力合計点

● 男子

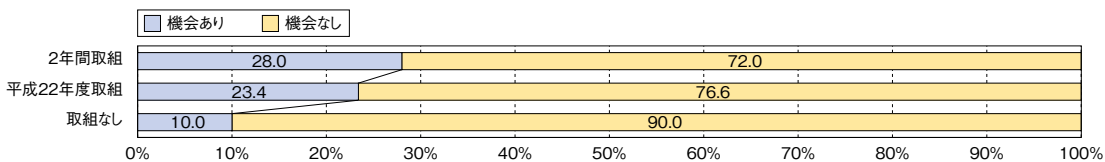


● 女子



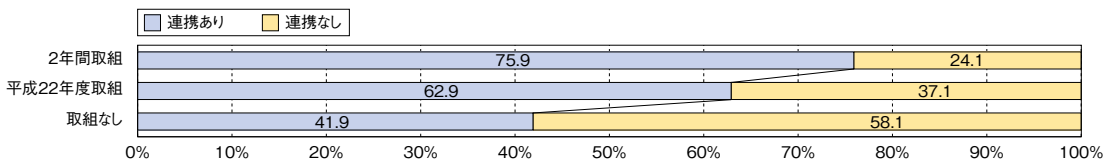
② 地域と話し合う機会の有無

【質問4】 生徒の運動やスポーツに関して、地域の関係団体などと話し合う機会がありますか



③ 家庭との連携の有無

【質問8】 運動やスポーツ、子どもの体力について、家庭とどのような連携をしていますか



2 体力の維持・向上のための学校の取組

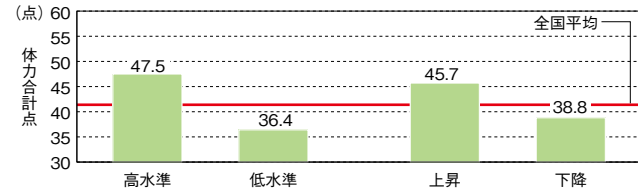
■ 平成20～22年度の3年間を通して回答を得た、男子1,479校、女子1,464校を分析対象とした。
 ■ 各年度の体力合計点をもとに、男女別に以下の4群を抽出した。
 「高水準」群……3年間の体力合計点が平均して高かった100校
 「低水準」群……3年間の体力合計点が平均して低かった100校
 「上昇」群……3年間の体力合計点の上昇が大きかった100校
 「下降」群……3年間の体力合計点の下降が大きかった100校

① 「高水準」群は「低水準」群よりも、体力合計点が男子で11.1点、女子で14.0点高く、1週間の総運動時間が男女ともに長かった。また、「高水準」群は「低水準」群よりも、男女とも、「生徒の運動習慣を確立するための授業以外の手だて」「地域が実施する運動やスポーツに関する活動の運営への学校の関わり」「運動やスポーツ、子どもの体力についての家庭との連携」の「取組をしている」割合がいずれも高かった。さらに、「高水準」群の運動部活動参加率は、「低水準」群よりも男子で13.5ポイント、女子で22.7ポイント高かった。

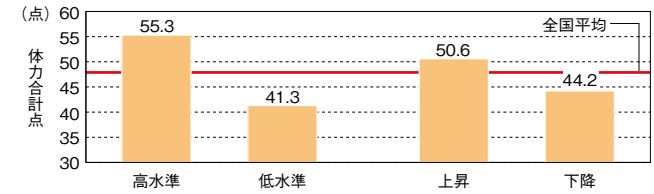
② 「上昇」群は「下降」群よりも、体力合計点が男女ともに6点以上高く、1週間の総運動時間が男女ともに長かった。また、「上昇」群は「下降」群よりも、男女の「生徒の運動習慣を確立するための授業以外の手だて」「地域が実施する運動やスポーツに関する活動の運営への学校の関わり」、男子の「運動やスポーツ、子どもの体力についての家庭との連携」の「取組をしている」割合がいずれも高かった。さらに、「上昇」群の運動部活動参加率は、「下降」群よりも、男子で6.4ポイント、女子で3.9ポイント高かった。

① 体力合計点

● 男子

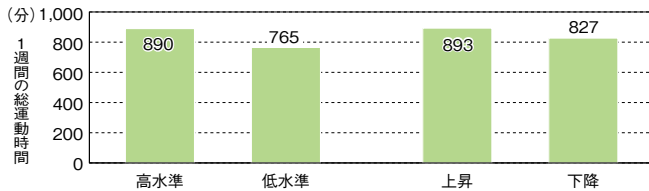


● 女子

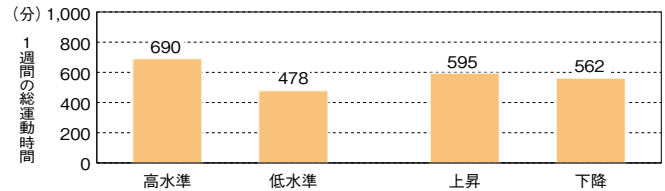


② 1週間の総運動時間

● 男子



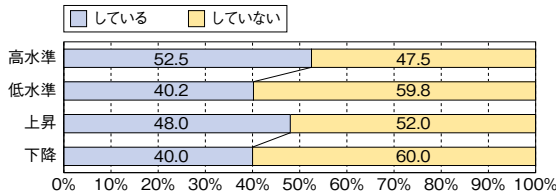
● 女子



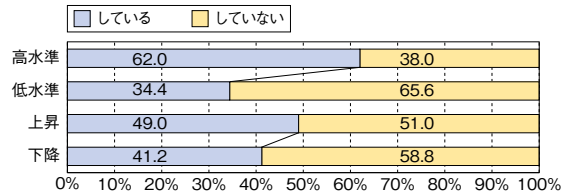
中学校

③ 生徒の運動習慣を確立するための授業以外の手だて

● 男子

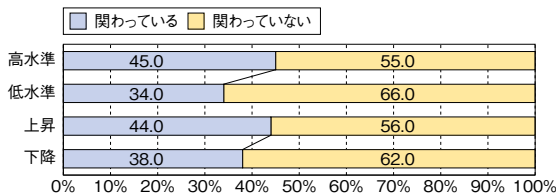


● 女子

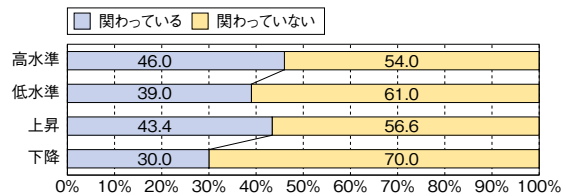


④ 地域が実施する運動やスポーツに関する活動の運営への学校の関わり

● 男子

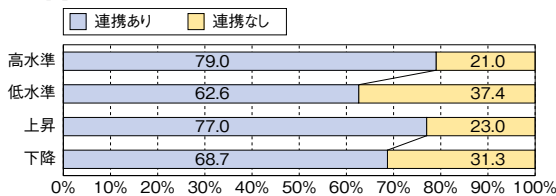


● 女子

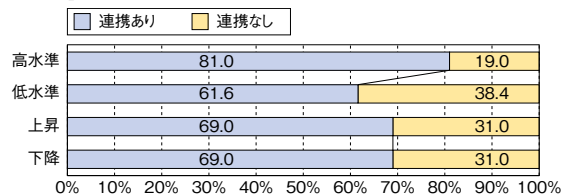


⑤ 運動やスポーツ、子どもの体力についての家庭との連携

● 男子

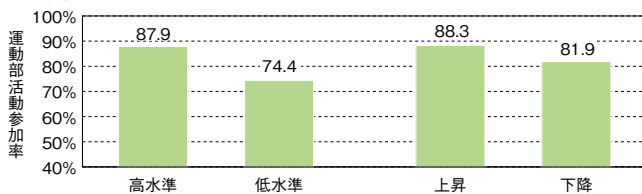


● 女子



⑥ 運動部活動参加率 (全学年)

● 男子



● 女子

